

2026年度 授業計画（シラバス） 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	S R 音響技術 I	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	神田武士	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
[実務経験歴]			
カワイ音楽教室のギター講師グレード資格を取得 2023年度 大分県民文化祭に大阪より演奏で出演 『Thanks Love Month2025』 XEXPO2025 コラボイベントにギターで参加 他TVCM、Free BGM楽曲参加、慰問演奏、イベントなどにも出演		USJ その他	
単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
4 単位 (60 回)	120 時間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
①音響機器および信号の基礎理解 ②アナログ・デジタルミキサーの運用能力の習得 ③マイキング・DI・モニター運用に関する実践力の向上 ④現場における判断力と対応力の育成			
[授業全体の内容の概要]			
①音響の基礎および機材理解に関する内容 ②アナログ・デジタルミキサー運用に関する内容 ③マイキング・音作り・モニター運用に関する内容 ④ライブ現場を想定した実践および振り返りに関する内容			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
[準備学習の具体的な内容]			
毎授業ごとに必ず簡単な復習を行い次回に繋げる			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。	
参考文献		・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準	
必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	ガイダンス・SRの役割		
2回	音の基礎（周波数・音圧		
3回	信号の流れ（Input→Output）		
4回	マイクの種類と特徴		
5回	ダイナミック vs コンデンサーの違い		

6回	DIとは何か（役割と仕組み）
7回	YAMAHA MG16概要
8回	ドラムマイキング基礎
9回	ベース：DI vs アンプ
10回	エレキギター：マイキング
11回	アコギ：コンデンサー vs ライン
12回	入力違いによる音比較
13回	単体音作り（入力重視）
14回	2パートミックス
15回	まとめ振り返り
16回	デジタルの概念
17回	CL1概要
18回	機材のルーティング
19回	ゲイン設計
20回	EQの考え方（削る発想）
21回	コンプレッサーの役割
22回	ドラム処理
23回	ベース処理（DI活用）
24回	ギター処理（E.Gt）
25回	ギター処理（A.Gt）
26回	エレピ処理（ステレオDI・帯域整理）
27回	バンドミックス①（+エレピ）
28回	バンドミックス②（住み分け）
29回	モニター設計①（4系統の考え方）
30回	まとめ振り返り
31回	アナログ vs デジタルの本質理解
32回	入力選択の判断（マイク・DI・ライン）
33回	入力選択の判断（マイク・DI・ライン）
34回	DI運用の実践（ベース+エレピ）
35回	バンドミックス応用①（帯域整理）
36回	バンドミックス応用②（ダイナミクス）
37回	モニター設計②（4系統実践）
38回	モニター実践（演者対応+修正）
39回	小規模ライブ（MG16）
40回	中規模ライブ（CL1）
41回	モニター運用①（演者別対応）
42回	モニター運用②（トラブル対応）
43回	現場シミュレーション①
44回	現場シミュレーション②
45回	まとめ・振り返り③

46回	ライブ設計（モニター含む）
47回	仕込み図作成（モニター回線）
48回	マイキング・DI設計
49回	サウンドチェック（モニター優先）
50回	本番オベ①（FOH+モニター）
51回	本番オベ②（CL1：AUX活用）
52回	モニター調整（リアルタイム）
53回	演者対応（要求変化）
54回	総まとめの応用実習①
55回	総まとめの応用実習②
56回	総まとめの応用実習③
57回	総まとめの応用実習④
58回	総まとめの応用実習⑤
59回	講師がアーティスト役になり生徒で音響を担当
60回	まとめ振り返り